



早期の火災安全ファクトシート

両親と保護者が子供の火と熱湯によるやけどを防ぐ方法

両親と保護者は、幼児が大人とは異なる方法で考え、行動することを認識する必要があります。たとえば、火災が発生した場合、子供は逃げるよりも隠れる傾向があります。危険を予測するのは、大人の責任です。

常に子供を監督する

ほとんどの損傷は、家の周囲での通常の毎日の活動中に発生します。多くの事故は、子供が監督されていないときに発生します。やけどが発生する可能性があるときはいつでも、どんな状況でも大人が付き添っている必要があります。

火災に安全な行動は、以下に基づきます

- リスクを認識し、リスクを削減するためにするべきことを知る
- 子供の適切な監督
- 両親/保護者による積極的な役割モデル
- 両親/保護者による危険の制御または除去

子供の火に対する興味を理解する

多数の子供は、幼少時から火に興味を示します。子供は、火に関する質問をしたり、「料理するまね」をするゲームをしたり、消防員の演技をしたりします。火に対する興味を示す最も一般的な行動は、火の近くに座って火を眺め、火を突っついたり、火やろうそくを点けてほしいと頼んだりすることです。

子供によってはこのような興味が、火遊び（マッチやライターを点ける）や放火につながる可能性があります。このような行動により、子供とその家族が多大な危険にさらされます。多数の家の火災により、子供が死亡しています。

やけどや火の危険に注意を怠らないことにより、子供を火災から守り、損傷を防ぐことができます。

詳細情報 :

Kidsafe

www.kidsafevic.com.au

Royal Children's Hospital

www.rch.org.au

詳細情報については、以下まで連絡してください。



www.cfa.vic.gov.au



www.mfb.vic.gov.au



Country Fire Authority (CFA)とMetropolitan Fire and Emergency Services Board (MFB)は、皆様が妥当な注意を払って使用することを前提として、この情報と資料を提供しています。特定の状況に対して、この情報の応用方法が確かでない場合は、さらに専門的なアドバイスを得る必要があります。CFAとMFBは、提供されるたゞは依存方法について、一切責任を負うことはありません。CFAとMFBは、意図しない不正確さ、間違い、省略またはその他の原因に間わらず、この情報の使用によって発生するいかなる損失または損害に対する責任を一切負いません。